

任期付任用制及び公募制による研究職員の採用計画

平成16年1月22日

独立行政法人国立美術館

1.採用の基本方針について

(1) 独立行政法人国立美術館の任務と重点課題等

独立行政法人国立美術館は、美術館を設置して、美術・映画に関する作品その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、これに関連する調査及び研究並びに教育及び普及の事業等を行うことにより、芸術その他の文化の振興を図ることを目的とする。各館においては、次に掲げる調査及び研究並びに事業等を行う。

- 一 美術作品に関する調査及び研究
- 二 美術作品の保存及び管理方法並びに展示方法に関する調査及び研究
- 三 その他美術作品の収集、保管及び一般の観覧の充実に資する調査及び研究
- 四 図書、学術刊行物等の情報及び資料の収集・整理・提供
- 五 講演会、列品解説等の教育事業及び定期刊行物・ガイドブック刊行等の普及事業

(2) 独立行政法人国立美術館の求める人材

上記課題を達成するため、芸術学、美術史学、映画史学等の分野における専門的知識を有する者を採用することを基本的方針とする。

2.任期付任用について

任期付任用制度は、組織の活性化の観点から有用な制度であると考えられる。しかしながら、現在の美術館を取り巻く環境のなかでは、当該制度を有効に作用させる社会的基盤が整備されておらず、導入に際しては、十分な検討を経て決定したい。

3.公募について

(1) 公募の有無

有

(2) 公募を行う組織及び職

各館学芸担当課 研究員

(3) 公募方法

独立行政法人国立美術館ホームページ及び JRECIN（研究者人材データベース）に募集要領及び応募書類を掲示する。

(4) 公募に基づく採用手続き

公募に基づく採用手続きについては、個々の公募要領において選考方法を明記するものとし、原則として筆記試験及び面接（または口頭発表）方式により行うものとする。

(5) 公募結果の公表

公募結果（応募者数・採用者数）については、ホームページで公表する。公表期間は、応募締切日からおおむね2ヶ月間とする。